

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 3 SUPER GT IN KYUSHU 300 km RACE

2014年5月31日(土)~6月1日(日)

予選 レポート



場所:オートポリス(大分県) 1周 4.674 km

天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:28℃ / 路温:38℃ / 観客動員数:13,800人

見事、今シーズン初ポールポジションを獲得！

2014年 SUPER GT シリーズは、オートポリス(大分県)で第3戦を迎えた。オートポリスは#61 SUBARU BRZ R&D SPORTにとって得意なサーキットである。第2戦富士では残念な結果に終わったが、マシンの手ごたえを十分に得ているチームとしては、ここオートポリスで表彰台を狙い、シリーズ戦に弾みを付けたい大事な1戦である。この日のオートポリスは初夏を思わせる暑い一日となった。午前中の公式練習ではトップタイムを記録し、順調な仕上がりを見せた SUBARU BRZ はその勢いで予選に臨む。

5月31日(土)

<公式予選 Q1/ 14:00~14:15>

青空の下、予選がスタートした。1回目の予選で上位13台が予選2回目に進む事が出来る。今回もQ1は井口卓人が担当する。井口は決勝スタートで使用される可能性があるタイヤを労わりながら、計測2周目で昨年のコースレコードを1.5秒上回る1分45秒717を記録しトップでQ1を通過する。



www.rdsport.net

<公式予選 Q2/ 14:40~14:52>

12分間のこのセッションで予選順位が決まる。今回も佐々木孝太がQ2を担当する。佐々木もタイヤを労わりながら計測3周目、1分45秒335の素晴らしいタイムを出しピットに戻る。その後、タイムは破られず、今シーズンの初ポールポジションをチームにもたらした。佐々木個人としても通算ポール歴代1位となる快挙であった。なお GT500クラスのポールポジションは#23 MOTUL AUTECH GT-R が獲得した。



■本島監督 コメント



路温が上がり、チームに有利な状況ではありましたが、ライバル車たちもタイムを上げて来ていたので、気の抜けない予選でした。ドライバー2人とも素晴らしい仕事をしてくれましたし、チームスタッフも良い仕事をしてくれました。ここオートポリスはレース中に抜く事が難しいサーキットですので、スタートからトップを守り切るレースが出来ればと思っています。頑張ります。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/> もご覧ください

2014年5月31日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net